

9月のはりま読書の会で紹介された本

書名	著者	請求記号（所蔵あり）
瀬戸内寂聴に聞く寂聴文学史	瀬戸内 寂聴／〔述〕	ミヤヅナ 910.2 ㄱ
聲のさざなみ	道浦 母都子／著	
木曜日にはココアを	青山 美智子／著	F 7ㄱ
いつもの木曜日	青山 美智子／著	F 7ㄱ
古典がおいしい！平安時代のスイーツ	前川 佳代／著	38 ㄹ1
柴犬マイちゃんへの手紙	柳原 三佳／著	91 ㄱ
うちのネコ、ボクの目玉を食べちゃうの？	ケイトリン・ドーティ／著	491 ト
アンの愛情（完訳クラシック赤毛のアン 3）	L. M. モンゴメリー／著	933 モ 3

～ 読書会 memo ～

今回の読書会は120回目！ 4名の方にご参加いただきました。

小説ではないものを読みたい、という方からは小説家や詩人といった作家たちのインタビュー本『瀬戸内寂聴に聞く寂聴文学史』と『聲のさざなみ』を紹介いただきました。フィクションではないインタビューだからこその心が動かされるものがあるそうです。

読書会の開催は日曜日ですが、今回ご紹介いただいたのは木曜日に訪れる不思議なお客さんの話『木曜日にはココアを』と、そのスピンオフ作品である『いつもの木曜日』の2作品。日常のなんともないふとした瞬間の幸せに感謝したくなるお話です。

『古典がおいしい！平安時代のスイーツ』は古典作品にも登場する平安時代のお菓子の作り方が載っている本です。平安時代の食事情について解説が載っている一方、現代の材料で作ることのできるレシピとなっているので、実際に再現してみてもいいかもしれません。

『柴犬マイちゃんへの手紙』は無謀な運転による交通事故で孫2人を失った夫婦のドキュメンタリー。懲役7年で判決を下されたこの事件、司法制度の難しさを考えさせられる1冊です。タイトルの由来を知った時にはもの悲しさを感じずにはいられませんでした。

夏の厳しい暑さも和らぎ、秋が近づきつつあります。秋といえば読書の秋。皆さまのお気に入りの1冊のご紹介をお待ちしております。

次回は 10月19日(日)午前11時からの予定です。

※変更となる場合があります。HP等をご確認ください。